新型コロナ&ワクチン「悪魔の陰謀」相関図

作成●国際情勢ファクト研究所

ディープ・ステートの「新型コロナウイルス」パンデミック計画

2人の黒幕

ディープ・ステートの絶対権力者
デイヴィッド・ロックフェラー
世界の支配構造を確立させ、1975年からパンデミック計画を準備

助言 →

発案者
英エリザベス女王の王配
フィリップ殿下
「イルミナティ13血脈」を支配する欧州貴族「ハノーバー家」の一族とされる

パンデミック実行犯?
ビル・ゲイツ

指示 → 指示? → **WHO テドロス事務局長**
ビル・ゲイツはテドロスのエチオピア保健大臣時代から資金援助し、WHO事務局長となる足がかりをつくったとされる

指示? → 実行 → **WHOによる中国の感染拡大**
2019年10月のWHOによる中国でのインフルエンザ検査で新型コロナを拡散させたとされる

指示 → **新型コロナ「開発」資金援助**

ジョージ・ソロス
ロスチャイルド家の資産管理を担当する投資家のソロスが、武漢ウイルス研究に資金援助したとされる

指示 → **ロスチャイルド家**
当主のジェイコブ・ロスチャイルドは資金援助を担当。新型コロナの特許を取得したイギリスのバーブライト研究所の設立者として名前が出てくるのが、ロバート・ロスチャイルド

世界最大のクルーズ運営会社
カーニバル・コーポレーション

実行 →

欧州への感染拡大はイタリアのクルーズ船から
ユダヤ金融資本のボス一族が経営するカーニバル・コーポレーション。2020年1月、このカーニバル所有の豪華客船コスタ・スメラルダ号から乗員乗客6000人がイタリアに上陸。このなかに新型コロナ感染者がいたことから欧州全土へパンデミックは広がった。日本の感染拡大の一因となったダイヤモンド・プリンセス号もカーニバル系列のクルーズ船

アメリカの感染拡大もクルーズ船から
2020年2月にカリフォルニアから出航し、3月に帰港したグランド・プリンセス号で集団感染が発生。これがアメリカでの本格的なパンデミックの原因とされる。グランド・プリンセス号もダイヤモンド・プリンセス号と同じカーニバル系列のクルーズ船だった

パンデミック計画は2020年末で終了

2021年4月に発表されたフィリップ殿下の死去が実際は2020年末で、その死をもってパンデミック計画は終了したとされる

2021年に入りディープ・ステートはパンデミック派と温暖化派で対立

パンデミック派
新型コロナのワクチンによる「人類家畜化計画」を実行
■ロックフェラー家 ■バチカン ■バイデン米大統領 ■WHO ■GAFAなど

温暖化派
新型コロナ関連の計画から離れ宇宙戦争やブルービーム計画に移行
■英王室 ■ロスチャイルド家 ■トーマス・バッハIOC会長 ■ハプスブルク家 ■欧州貴族など

ディープ・ステートにおけるビル・ゲイツの失脚

新型コロナワクチンの「人類家畜化計画」黒幕

バイデン政権を実効支配する米「影の大統領」
デイヴィッド・ロックフェラー・ジュニア
2017年の「ディープ・ステートの絶対的支配者」デイヴィッド・ロックフェラーの死去後、甥のジョン・ロックフェラー4世が一族の"表の顔"としてロックフェラー家の当主を継いだが、権力の実質的継承者は、長男のデイヴィッド・ロックフェラー・ジュニアとされる。バイデン政権を傀儡とし、ディープ・ステート「パンデミック派」の支配者としてワクチン推進計画を指揮する

指示 → ワクチン開発会社へ資金提供
ウォーレン・バフェット
世界的な投資家としてディープ・ステートにおいてビル・ゲイツから資金提供を受けていたが、ゲイツの失脚によりワクチン推進計画では、ファイザー、アストラゼネカ、モデルナなどへの資金提供担当のトップになったとされる

指示 → ワクチン接種"推進"の実行犯
バイデン、バチカン(欧州)、菅首相

指示 → **ワクチンビジネスで毎年巨額の利益を得るために「新型コロナ治療薬」の承認、普及をさせない**
WHOとディープ・ステート系研究機関を使って、治療薬の実行成果をことごとく否定

「ワクチンにチップを混入する」は"ウソ"
「人格改造技術」を使った「新奴隷化ワクチン」の接種が目的

毎年の新型コロナワクチン接種が軌道に乗ったうえで、「新奴隷化ワクチン」の接種を実行する計画

米中戦争のキャスティングボードを握る
ウラジーミル・プーチン
ロシア大統領

ワクチン推進計画にはかかわらず、傍観する立場を取る中立派。ディープ・ステート「パンデミック派」と中国の勝ち馬に乗る狙い

反ディープ・ステートのボス
習近平
中国国家主席

新型コロナの発生源としてディープ・ステートに利用されたが、コロナ禍に便乗してワクチン外交を武器に覇権主義を進める